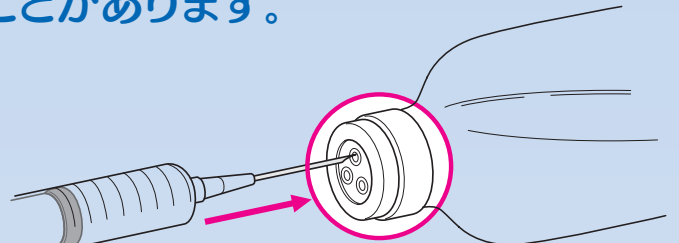


「コアリング」に要注意!

輸液容器に注射針を刺す時、
是非とも覚えておかなければならないことがあります。
それは「コアリング」の防止です。

注射針の先端は、横から見ると斜めになっています。ゴム栓に対して斜めに針を刺すと、針のあご部でゴム栓が削り取られてしまうことがあります。また、刺しながら針を回転させたりすることでも同様のことが起こります。何度も穿刺する場合は、同じ場所に針を刺すと前回刺した穴の側面を削り取ってしまい、「コアリング」の危険性が高まります。さらに、ゴム栓の材質や形状、注射針の径や形状にも影響されます。

正しく輸液容器に穿刺するには、指定された場所(ない場合は中央付近)に、針を垂直に押し込むことが大切です。患者さんに注射をする際、針を寝かせて斜めに穿刺することの多い看護師さんにとって、針を垂直に刺すことに抵抗を感じる方もいるかもしれません。でも、「コアリング」を防止するためには大切なことなのです。



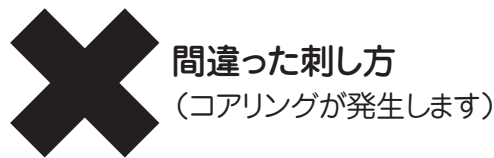
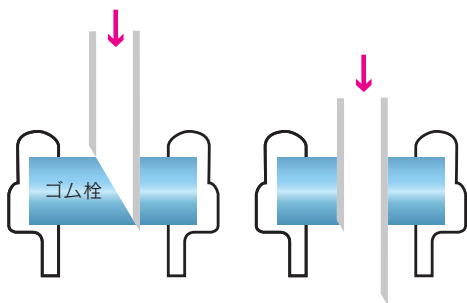
注射針は指定された場所(ない場合は中央付近)に刺します。

「コアリング」とは
注射針をゴム栓に穿刺するとき、
注射針のあご部により
ゴム栓が削り取られることだよ。
まれに容器内に混入して
しまうこともあるよ。

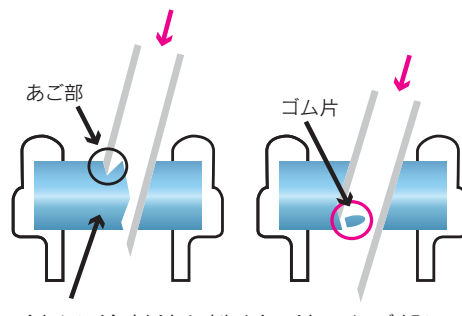
輸液製剤協議会
キャラクター
ゆえきちゃん



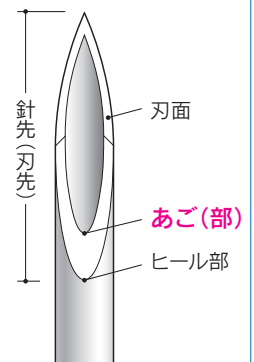
正しい刺し方
(垂直にゆっくり)



間違った刺し方
(コアリングが発生します)



斜めに注射針を刺すと、針のあご部によってゴム栓が削り取られる。



針先*

※MTJAPANにおける規格・基準関連用語のあり方一用語統一のためのガイドライン(第2版)(一般社団法人日本医療機器テクノロジー協会/MTJAPAN)より



輸液協の
ウェブサイト
を見てね!!

<https://yueki.com>

